

# 子どもが「ほっと」できる場に

## 音更市街地にふれあい教室

【音更】町教委は学校へ登校することが難しい児童・生徒を対象にしたふれあい教室(適応指導教室)の柳町教室「ほっと」(柳町仲区12ノ12)を27日に開設する。町内では1999年3月に閉校した農村部

の旧南中土幌小学校(東音更西2ノ25)がふれあい教室として利用されているが、市街地に新たな教室ができることで保護者の送迎の負担が軽減されるなどのメリットが見込まれる。



「ほっと」を紹介する榎本代表理事(左)と白石専務理事

### 保護者の負担軽減へ

「ほっと」は公設民営。旧柳町教員住宅を活用し、運営はNPO法人教育支援

協会北海道(榎本尚世代代表理事)が町教委から受託する。室内は約61平方メートルの広さで、同協会の指導員2人が常駐する。

利用は基本的に無料だが、在学する小・中学校を通して町教委に利用登録が必要。利用した児童・生徒は在学する小・中学校の出席扱いとなる。給食の提供はないため、弁当や飲料は持参。指導員が児童・生徒の悩みの相談相手などになって寄り添い、一緒に遊んだり、英語やプログラミング学習など幅広い分野の勉強を教えたりする。

民間ならではの柔軟な発想で、明るく楽しい雰囲気づくりに努めており、榎本代表理事(45)は「子どもたちが気兼ねなく集って『ほっと』できるような場所にした」と話す。同協会の白石友柄専務理事(46)も

「子どもたちが元気を取り戻すきっかけづくりをサポートしたい」と力を込める。「ほっと」は月一金曜(祝日は休み)の午前8時半～午後3時45分に開く。小・中学校の長期休業中も一部開放する予定。登録すれば、旧南中土幌小のふれあい教室にも通うことができる。問い合わせは町教委学校教育課学校教育係(0155・42・2111)へ。(内形勝也)